



前期学校評価へのご協力、ありがとうございました。児童アンケート、教職員自己評価も行いました。

本校の前期学校評価の結果をもとにした学校運営の成果と課題、今後の方策の概要を、お知らせいたします。

【平均値】最大値4 あてはまる:4 どちらかと言えばあてはまる:3 どちらかと言えばあてはまらない:2 あてはまらない:1

評価項目			総合評価 今期 評価		児 童	後昨 期年	前昨 期年	保護 者	後昨 期年	前昨 期年	教 職 員	後昨 期年	前昨 期年	分析と改善策		
確かな学力の育成	1 家庭学習 (新設)	【児】1~4年:自分から家庭学習をしていますか。 5、6年:自分で計画立てて家庭学習をしていますか。 【保】お子さんは自分の考え方を持ち、書いたり伝えたりしている。 【教】児童が自ら家庭学習に取り組む習慣化を図っている。	3.4	B	3.3	3.2	3.3	3.2	3.0	3.2	3.8	3.7	3.8	3.8	昨年度の後期に比べ、評価は上がっている。新学期で学年が上がり、頑張ろうとする姿勢がつながったと捉える。また、強化週間などを通して児童の実態把握ができ、それが保護者との連携に繋がった成果と考える。今後も、強化週間等を通して、家庭学習の習慣化を図っていく。	
	2 自分の思いいや考え方を表現する力 (新設・■くわく 〔年度評定〕)	【児】自分の考え方を持ち、書いたり伝えたりしていますか。 【保】お子さんは自分の考え方を持ち、書いたり伝えたりしている。 【教】自分の考え方を持ち、書いたり伝えたりできるよう指導している。	3.5	A	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	3.8	3.9	3.6	3.6	教員の評価が昨年度後期から下がっている。学校全体としては、話の仕方やトータルタイムの取り組み方など共通実践を継続していく。また、9月、10月の学習目標には、全校で教師と児童と共にノートの書き方について共通取組を掲げ、進めていく。	
	3 わかる授業	【児】授業はわかりやすいですか。 【保】お子さんは授業はわかりやすいと思っています。 【教】児童の導入で、子供たちが考え方をくわくわるように、既習や生活のつながりを意識する工夫をしました。 複数の資料や意見から、目的に合わせて考察し、自らの考え方を書く場面を設定しました。	3.5	A	3.7	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	3.5	3.4	3.3	3.3	児童の評価が上がっている一つの要因として、導入の工夫があげられる。導入で、児童の「考えたい」「やりたい」を引き出すことで、「できた」「わかった」につながったと考える。さらに、学年会や全体研究会などを通して、児童の「考えたい」「やりたい」を引き出す授業場面の設定について考え進めていく。	
	4 読書習慣	【児】本を毎週借りていますか。 【保】お子さんは、家庭の日に読書をしている。 【教】児童が、読書や調べ学習に主体的に取り組めるよう指導している。	3.2	B	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.5	3.6	3.5	3.5	評価の全体としては横ばいであるが、昨年度までの週末読書や家読カードの継続した取り組みは学校全体として浸透してきていると考えるため、今後も継続して行っていく。 読書を通じて得られる効果や大切さと共にそれに基づく学校での取り組みを家庭と共有するために、今後もモチivationなどを通じて啓発活動を継続していく。	
豊かな心の育成	5 あいさつ	【児】自分から、あいさつができますか。 【保】お子さんは、家庭や地域であいさつができる。 【教】気持ちのよいあいさつができるよう指導している。	3.6	A	3.6	3.3	3.4	3.2	3.2	3.1	3.9	3.8	3.7	3.7	児童・教職員共に昨年後期に比べ、評価が上がっている。朝、玄関での運営委員会のあいさつ運動や教職員の働きかけが功を奏した結果と捉える。今後はより明るい声で自分から進んであいさつする児童をほめたたり広めたりしていく。 9、10月の生活目標には、名前を呼んで目をあわせてあいさつすること、地域の方にも自分から進んであいさつすることなど、共通取組を全校で共有し、よりよいあいさつを目指していく。	
	6 楽しさ	【児】学校は楽しいですか。 【保】お子さんは、学校は楽しいと感じている。 【教】子どもたちは、学校で楽しく過ごしている。	3.6	A	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	児童・保護者ともに結果を維持している。さらに児童が楽しいと思える行事・活動となるよう、それぞれの目的を明確にさせながら充実させていく。特に、2学期の中心行事である運動会、たてわり活動、校外活動等、集団生活においての楽しさを実感できるよう児童と共に内容や取組を考えるようにする。また、ふり返りを重視し、「できた」など達成感や自己有用感のメタ認知を図っていく。	
	7 安心	【児】いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごせていますか。 【保】お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。 【教】子どもたちはいじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごせることを指導している。	3.6	A	3.7	3.6	3.4	3.6	3.6	3.5	3.5	3.8	3.7	3.7	教職員の回答が昨年度に比べ、下がっている。毎月児童全員に友だちアンケートでいじめに関わる訴えをチェックし、訴えがあつた場合は聞き取り、即、対応している。今後も、全教職員で日頃からの児童・保護者の声に耳を傾け、丁寧に迅速に対応していく。また、引き続き、友だちアンケートを生かして、いじめの未然防止の観点で指導・声掛けを行っていく。	
	8 自己有用感	【児】みんなの役に立つことができますか。 【保】お子さんは、家庭で何かしている。 【教】児童が、自分のよさを発揮できるようにしている。	3.4	B	3.2	3.0	3.0	3.3	3.3	3.3	3.8	3.5	3.5	3.5	児童・教職員共に昨年後期に比べ、評価が上がっている。今後も担任をはじめ全教職員で、ほめ・認めの声掛けを継続していく。 また後期は運動会やたてわり企画、6年生を送る会など、異学年で行なう行事がある。学年に対応した役割を意識させ、達成感を味わうことができるよう、ありがとうございましたやカラーカードの取組を通して、児童の自己有用感、自己存在感を高めていく。	
健やかな体の育成	9 敏捷性・跳躍力	【児】授業中や休み時間に体を動かしていますか。 【保】児童が体を動かしている。 【教】体を動かすよう指導している。	3.5	A	3.6	3.5	3.4	3.3	3.1	3.2	3.8	3.5	3.5	3.5	体育の授業の導入として行っている「松南っ子体力アップタイム(敏捷性、腰盤力、跳躍力を高める簡単な運動)」を取り入れた結果、児童が運動する機会は増えた。スピーチ等も取り入れ、今後も楽しく運動できる場と方法を工夫し設定していく。	
	10 食への感謝	【児】感謝の気持ちをもって食べていますか。 【保】お子さんは、感謝の気持ちをもって食べている。 【教】感謝の気持ちをもって食べるよう指導している。	3.7	A	3.8	3.7	3.7	3.2	3.3	3.1	3.9	3.8	3.9	3.9	給食を残さず食べる児童が増えている。委員会の取組や栄養教諭による丁寧な巡回指導が要因と考えられる。今後も取組を継続し、充実させていく。	

※「総合評価」は三者の平均値で判定。

全校  
肯定的評価の  
回答割合

3.5(87.5%)	以上	A
3.0(75.0%)	以上	B
2.5(62.5%)	以上	C
2.5(62.5%)	未満	D

## 【保護者の皆様からのご質問・ご要望・ご感想について】

学校評価アンケートにご協力とたくさんの方のコメントを本当にありがとうございました。今後の学校運営のために活かしていきたいと思います。

	保護者記述	回答
学習について	<p>授業参観でタブレットを使用していましたが、同じことを先生が黒板に書いており二度手間に思いました。その後、生徒も紙に書いたりして、結局授業においてタブレット活用できているのか疑問に思いました。</p> <p>宿題の事ですが、宿題が苦手なので、出来ない時は申し訳なくおもっています。</p>	<p>自分で計算問題を作るという課題のため、タブレットの利点を生かすことができる課題という捉えと、参観でタブレットを活用する場を見て頂く機会という捉えで授業を行いました。板書にも書くというのは、タブレットでは消えてしまうこと、また書く力をつけることも大切にしているためです。eライブラリなど学習支援ソフトなどのタブレット活用とノート等に書くこととのハイブリットで今後も対応していきます。</p> <p>子どもたちの様子を見守って頂き、ありがとうございます。 宿題は、内容など吟味して出していますが、本人の「できない」原因がどこにあるか見極めた上で学校では、支援指導に努めて参ります。</p>
学校生活について	<p>先生に色々と感謝しています。 授業参観に行ったりクラスのおたよりを見ていると、学校生活を楽しくしようと努力されている様子が感じ取れます。これからもよろしくお願いします！</p> <p>三年生になり、途中で少し学校に行きにくい日もありましたが今は楽しそうです。ありがとうございます。 そしてなかなか昨年度お世話になった先生にお伝えできないでこちらですみません。。。娘が、3年生になって昨年度の先生と時々会うと嬉しいと言っていました。(もちろん今の担任の先生のことも大好きです)いつも色々な先生が気にかけてくださりありがとうございます。</p> <p>毎回ではありませんが、給食用エプロンを持ち帰ってきた時、おそらく柔軟剤?かと思いますが、香りがきつく一緒に洗濯すると、家庭の洗濯物にも香りが移るほどです。原因不明の体調不良の改善になるかも?と思いお伝えしました。各ご家庭の事情もあり、デリケートな問題で中々相談しにくい案件なのですが、学校では香害についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>給食エプロンですが、学校のものをみんなで回すのではなく自分用を持たせるのはどうでしょうか。 少しのことですが、4年にもなり服が大きくアイロンが負担です。。</p> <p>掃除は毎日した方がいいのではないかと思います。</p>	<p>ありがとうございます。 子どもたちや保護者の皆様のこうしたお声に支えられて成り立つ学校生活です。こうしたお声を励みに、今後とも子どもたちのより良い成長を促すことができる学校運営に、教職員一同、力を合わせて取り組んで参ります。</p> <p>教えて頂き、ありがとうございます。香りへの対応については、人によって体調不良の原因になることを念頭に置き、エプロンの洗濯についても、香りの強い柔軟剤はできる限り控えて頂くことを学校だよりで周知します。 個人のエプロンを持たせることについては、当番制のため毎日必要なものではないこと、個人持ちとなりますと金額もかかることから難しいと考えます。 食育だより4月号では「洗濯をして翌週月曜日に持たせる」としています。学校用エプロンは、しわになる素材ではないため、アイロンがけまでは求めません。ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>日課の都合上、週2回とっています。教職員の働き方の課題もこの日課にすることで、解消されつつあります。校務士が毎日校内清掃をおこなっているため、清潔、整然としています。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
に生つ徒い指導	子どもで困ったことがありましたら、相談させてください。アドバイス等頂けると助かります。	いつでもご相談に応じます。こちらこそよろしくお願いします。
安全・通学について	<p>いつもありがとうございます。 個人的なことになってしまふかも知れませんが、お願いたい事があり書かせて頂きます。 下校時に石を拾ったり、友達とお話する為に立ち止まつたりする子が見受けられます(我が子を含む) とても暑い日も増えてきているので、再度寄り道をせずに下校してほしいという声かけをお願いしたいです。 家庭でも声掛けはしていますが、一人だけが守っていても周りの子が守っていないと結局寄り道をしている形になってしまふ為、一人一人の意識が大切だと思っています。 長々と書いてしまいすみません。よろしくお願いいたします。</p> <p>熱中症や落雷の危険のある際の登校について、</p>	<p>教えて頂き、ありがとうございます。 登下校については、地域・保護者の方からの情報がとても大切です。即、全校児童への指導を行いました。 今後もご家庭と連携しながら、児童の安全を見守っていきたいです。</p> <p>通学時の暑さ対策については6月の学校だよりやテトル配信により、周知をしています。 熱中症については、暑さ指数を測定し、校内放送で注意喚起を毎日行っている。登下校中は、黄色の安全帽子の着用、適宜水分補給、ネッククーラー等の活用について声掛けを行っています。 落雷については、毎日雷注意報および気象庁の雷活動度(ナウキャスト)を確認しています。登下校の際に対応が必要になった場合は、引き渡しの対応を検討しています。</p>
	熱中症アラートが出ている時はスクールバスで下校させて欲しいです。毎回このお願いをしているのですが、歩く距離が決まっていて駄目だと回答がきますが、バス組の子供達も行きは歩く距離があるけど帰りはほぼないように思います。何かあってからでは遅いので熱中症アラートの出ている時はバス下校できるように早く対処して欲しいです。	バスは2km以上という市の規定があるため、下校についても同様に乗車はできません。ご理解頂きますようお願いいたします。

<p>PTA 関係 につ いて</p> <p>担任の先生は授業のほとんどを持ち、給食準備から生徒と片付けまでしている姿を見て、休憩はとれているのかな？と心配になりました。 また、PTA補佐させていただけるなら、1年生の給食試食会(任意参加※有料)で復活できませんか？どのような味付け、温度で提供しているか非常に興味があります。また牛乳選択の自由化により我が子にも特に矯正しておりませんが、先日の給食説明会では牛乳を少しでも飲むとカルシウムが～の話ばかりで、飲めない子供に対しての対処法なども聞けると嬉しいです！最後に、松南小のコーディネーターさんはどなたがされていますか？またその方とお会いする機会はありますか？</p>	<p>ご心配を頂き、ありがとうございます。 給食は、準備から後片付けまで給食指導のため、休憩時間には当たりません。休憩時間の設定はありますが、児童が学校にいる間は、十分に休憩を取ることは難しいのが現状です。 給食試食会を開催するためには、2か月前の食材の発注、会の段取りや準備、集金業務など数々の準備や手配が必要となります。配食数、食器類を確保するためには6年生の合宿時に行うしかなく、引率などで職員が減ることから、6年生以外の児童の安全確保のため実施は難しいと考えています。 本校コーディネーターは、現PTA役員顧問の方が担ってくださっています。毎月、PTA役員会が開催されますので、ご都合が良ければ来校して頂いても構いません。その際には学校へご連絡ください。</p>
<p>いつもありがとうございます。 PTAへの質問になるかもしれません。通学の旗振り時に児童が歩行不可の時はどの様な対応をしたら良いですか？その時の状況で判断が変わるとと思いますが指針があると助かります。 実際に旗振り時、動けなくなった児童の対応をしましたが、正しい対応だったのかもやもやしています。</p>	<p>基本、学校へご連絡してください。(PTA会長とも確認する)</p>
<p>・現在の学校運営に満足しています。 ・お世話になっております。 ・いつもありがとうございます。 ・いつも子供に丁寧に向き合っていただき感謝しています。 ・先生に色々と感謝しています。授業参観に行ったりクラスのおたよりを見ていると、学校生活を楽しくしようと努力されている様子が感じ取れます。これからもよろしくお願ひします！</p>	<p>ありがとうございます。このようなお言葉を励みに、より一層尽力していきます。</p>
<p>先生方との関わり方で子供の学校に対する気持ちが大きく変わることを感じています。 学校支援ボランティアでは、子供たちの素直な反応や一生懸命に取り組む様子、授業参観とは違う自然な姿を見ることができ嬉しく思います。 同時に、先生方の大変さを実感し、子供たち一人一人のケアやサポートには、たくさんの目と手が必要だと感じました。 保護者が順番に学習支援に参加するといいのでは？と思うほど、この取り組みは有意義だと思います。 今後も、保護者としてできることから協力させていただきます。 とても良い機会を与えていただき、ありがとうございます。</p>	<p>学校支援ボランティアにご来校の際は、児童に寄り添い、温かく支えていただいております。お忙しい中、お時間都合つけていただき、ありがとうございます。</p>

#### 【学校運営協議会委員の皆様より】 前期

- ・いじめ問題等の対応として、日頃から市教委や警察と連携をとる体制になっている。日頃から保護者同士が顔を見知って、コミュニケーションをとるなどつながりを大切にしていくと良い。
- ・いじめアンケートの記述欄の記入方法として、書くことが難しい児童や書きづらい児童もいるため、マークを入れる形など工夫があると良い。  
→本校では、児童が書きづらい時はゼロ4つ(0000)を書く約束があり、記載のあった児童には先生が話を聞いて状況を把握するようにしている。
- ・学力調査の質問紙「学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか」について、わかる授業を目指すために、前時を振り返る場の設定と自分の考えがまとまったかの確認もぜひ、行うと良い。
- ・否定的な回答の児童への対応はどうしているか。  
→個別の結果が確認ができるため、「楽しさ」「安心」などの項目で気になる児童に対しては、個別対応を心がけ、必要に応じて家庭との連携をとるようしている。
- ・親も忙しいためか、子どもはユーチューブやゲームが中心で、生活習慣が気になっている。地域では、ゲーム以外の楽しさを見出せるように、例えれば物づくりができる環境設定を考えている。
- ・地域の大人とのつながりを重視し、地域行事(eスポーツや芸能祭、文化祭、フリーマーケットなど)に参加してもらえるように、工夫している。学校からも発信してもらえると嬉しい。
- ・食への感謝は子どもといえ、考え方があるため、食への感謝にぜひ心がけてほしい。
- ・暑さ対策として、暑さ指数を記録し、指数に応じて、休み時間の過ごし方について校内放送で対応している。黄色の安全帽子、ネッククーラー、着替えの白いTシャツ(期間限定)を可としている。  
日傘については強風が吹く環境にあり危険と判断し、使用はしていない。

#### 『学校運営協議会』とは…

未来の創り手となる子どもたちの成長を、学校と地域とが一体となって支えていくことが求められています。白山市では、令和5年度よりすべての小学校に学校運営協議会を設置しています。学校運営協議会は、校長、教職員のほか、PTA会長等の保護者代表、コミュニティセンター長等の地域代表、有識者により構成されており、学校の運営等に対して、意見をいただき、反映させています。